

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	取組方針	コミュニティ活動の支援の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	コミュニティ推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	一般社団法人高松市コミュニティ連合会への運営補助金の交付、地域コミュニティに携わる人材育成を目的とした人材養成事業の実施、コミュニティ活動備品の整備などを行い、地域コミュニティの自立と活性化を図るもの。				
年度概要	一般社団法人高松市コミュニティ連合会の活動支援等 地域コミュニティ人材育成研修等の開催 コミュニティ活動備品の整備等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市補助金等交付規則

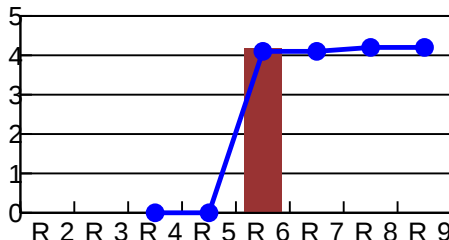
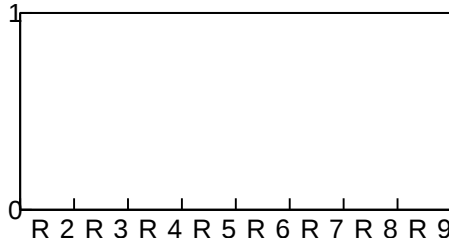
【事業の目的】

対象（何を）	一般社団法人高松市コミュニティ連合会、各地域コミュニティ協議会、地域コミュニティ関係者
意図（どのような状態にしたいか）	地域コミュニティ協議会及びその連合体である一般社団法人高松市コミュニティ連合会の組織を強化し、地域コミュニティの自立と活性を図るほか、一般社団法人高松市コミュニティ連合会と連携し、地域コミュニティの人材育成に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	地域コミュニティ関係者を対象とした研修等の参加人数	人	0	0	686	490	530

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	参加者の研修等への満足度		点	目標値	0	0	4.1	4.1	4.2
				実績値	0	0	4.18		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	令和4年度より、コミュニティ連合会と連携し、地域コミュニティの人材育成を目的に、役職別研修や協議会事務に係る研修などを実施し、3年目となり概ね目標値を達成することができた。		(目標達成度)		102.0%				
(得点)			35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	46,714	52,529	49,874	59,839
(事業費)	[千円]	33,991	39,733	36,750	46,715
(職員人件費)	[千円]	12,723	12,796	13,124	13,124

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	一般社団法人高松市コミュニティ連合会の活動支援等 人材育成研修等の開催 コミュニティ活動備品の整備等	コミュニティ連合会運営補助等 2 7 , 6 5 1 千円 人材育成研修開催経費 1 3 8 千円 コミュニティ助成事業 9 , 1 0 0 千円	総額	36,750	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	9,432
			一般財源	27,318	
令和 7 年度	一般社団法人高松市コミュニティ連合会の活動支援等 地域コミュニティ人材育成研修等の開催 コミュニティ活動備品の整備等	コミュニティ連合会運営補助等 2 6 , 9 8 1 千円 人材育成研修開催経費 2 3 4 千円 コミュニティ助成事業 1 9 , 5 0 0 千円	総額	46,715	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	19,931
			一般財源	26,784	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
令和4年度から、一般社団法人コミュニティ連合会と連携し、地域コミュニティの人材育成を目的とした各種研修を実施した。初めての研修メニューも多かったが、想定以上の参加者数であった。研修参加者からの意見を参考に、今後も継続して実施していく。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
昨年度に引き続き、一般社団法人高松市コミュニティ連合会と協議しながら、地域コミュニティ人材育成研修の企画・実施を行っていく。 また、協働推進員制度や市政出前ふれあいトークなどを利用して、地域コミュニティの理解促進や地域へのサポート体制強化を図っていく。						

令和 7年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	取組方針	コミュニティ活動の支援の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	自治会再生支援事業			

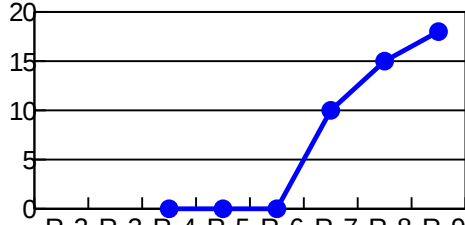
【事業全体概要】					
事業概要	地域コミュニティの中心的役割を担う自治会の活動を支援することで、地域の連帯感を取り戻し、地域みずからのまちづくりを目指す。 自治会の在り方等検討プロジェクトチームで検討された自治会支援策を踏まえて、地域と行政とで共に自治会再生に向けた新たな取組を実施し、自治会のみならず、地域コミュニティの再生を目指す。				
年度概要	自治会に関する研修や自治会PR、企業表彰 マイタウン・サポートリーダー事業 自治会チャレンジ事業 マンション事業者等と自治会加入促進に関する協定の締結 自治会の新しい在り方検討事業に係る伴走支援				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	3-	関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	各地区（校区）連合自治会及び単位自治会、各地域コミュニティ協議会、高松市コミュニティ連合会
意図（どのような状態にしたいか）	単位自治会の再生、各地区（校区）連合自治会及び単位自治会の活性化

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
地縁力向上のための新たな取組を実施する協議会数	協議会	0	0	0	1	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	新たな取組を実施する協議会の自治会加入率の上昇率			%	目標値	0	0	0	10	15	
					実績値	0	0	0			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
	新たな取組を実施する協議会を支援する「自治会の新しい在り方検討事業に係る伴走支援」は令和6年度に制度設計を行い事業実施には至っていないため、令和6年度の目標値は設定できない。				(目標達成度)						
(得点)											

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
					目標値						
					実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
					(目標達成度)						
(得点)											

令和 6年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策		地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	取組方針		コミュニティ活動の支援の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		地域まちづくり活性化支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治及び市民と行政との協働による地域自らのまちづくりを推進するため、地域コミュニティ協議会に対して、地域の各種事業・団体に交付される補助金を一元化して交付する。主体的・積極的なまちづくりの促進とコミュニティ活動を担保するための新たな財源とし、使途について地域に裁量権を付与することで、「地域自らのまちづくり」の機運を醸成し、地域の自立を促進するものである。平成26年度には、交付算定基準を変更するとともに、敬老会事業の在宅者分事業費を一元化した。29年度には、課題解決応援加算を創設した。令和6年度から、事務局体制支援事業補助金を統合した。				
年度概要	均等割、人口割、面積割等、地域まちづくり交付金交付要綱に基づく地域まちづくり交付金を交付 地域コミュニティ協議会事務局に係る人件費を補助				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市地域まちづくり交付金交付要綱

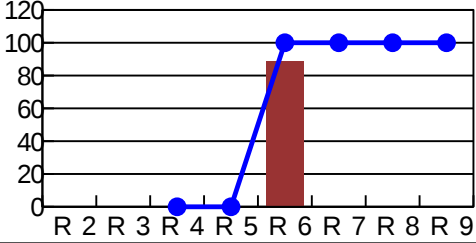
【事業の目的】

対象（何を）	市内全域の４４地域コミュニティ協議会
意図（どのような状態にしたいか）	一元化した交付金を地域コミュニティ協議会に交付することによって、地域コミュニティ協議会の裁量で交付金配分し、主体的に地域の課題に取り組むことができる。R6からは事務局事務が円滑かつ継続的に行える体制を整えるための事務局人件費についても対象経費とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	補助金交付地域コミュニティ協議会数	協議会	0	0	44	44	44

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	コミュニティプランの見直し率	%	目標値	0	0	100	100	100
			実績値	0	0	88.6		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	各地域コミュニティ協議会における課題や特性に合った事業が実施できるよう、コミュニティプラン見直しの支援に努め、見直しの実施を行った地域があったが、会議等を開催できない地域もあったことから、見直しが進まない地域もあり、目標達成に至らなかった。	(目標達成度)		88.6%				
(得点)		31点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	754,565	766,293
(事業費)	[千円]	0	0	743,757	755,485
(職員人件費)	[千円]	0	0	10,808	10,808

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	均等割、人口割、面積割等、地域まちづくり交付金交付要綱に基づく地域まちづくり交付金を交付 地域コミュニティ協議会事務局に係る人件費を補助	7 4 3 , 7 5 8 千円	総額	743,757	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	4,500
				他	120,000
			一般財源	619,257	
令和 7 年度	均等割、人口割、面積割等、地域まちづくり交付金交付要綱に基づく地域まちづくり交付金を交付 地域コミュニティ協議会事務局に係る人件費を補助	7 5 5 , 4 8 5 千円	総額	755,485	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	5,000
				他	127,000
			一般財源	623,485	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

今後、地域にとってより使いやすい交付金制度によるよう、地域コミュニティ協議会や関係各所の意見を踏まえながら検討していくとともに、令和５年度事務局体制強化支援事業補助金を見直し、同交付金に統合することで常勤職員人件費を一元化したこともあり、引き続き、各地域の事業の実施状況などを共有する機会を設けていく。また、会計処理や事業内容について、今後も市が行う検査や指導を通して適切な支援を継続して行っていく。

今後、地域コミュニティ協議会や関係各所の意見を踏まえつつ、地域側の成熟度の向上を見据え、地域にとってより使いやすい、地域が住民に説明責任を果たせる交付金制度を検討していく必要がある。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価 担当	局名	市民局
	政策		地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策		地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	取組方針		コミュニティ活動拠点の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		コミュニティセンター整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域住民によるまちづくり活動の拠点として、また、生涯学習及び地域福祉の推進に資するため、中期整備指針等に基づき施設ごとに整備の方向性をまとめた上で、コミュニティセンターの整備を行う。				
年度概要	花園コミセン整備 旧総合福祉会館解体 多肥コミセン整備 女木コミセン整備				
重点取組事業		市長マニフェスト	3-	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	新コミュニティセンター整備計画等に該当するコミュニティセンター計２３館（昭和５６年以前に建設された旧耐震基準に基づく施設）
意図（どのような状態にしたいか）	施設の改築等を行い、コミュニティセンターの安全性の確保と環境改善を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	コミュニティセンター中期整備指針に基づく整備箇所数	館	0	0	14	14	14

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																			
	施設整備進捗割合		%	目標値	0	0	60.8	60.8	60.8																			
				実績値	0	0	60.8																					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 2</td><td>0</td></tr><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>60.8</td></tr><tr><td>R 7</td><td>60.8</td></tr><tr><td>R 8</td><td>60.8</td></tr><tr><td>R 9</td><td>60.8</td></tr></tbody></table>					年度	達成率 (%)	R 2	0	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	60.8	R 7	60.8	R 8	60.8	R 9	60.8
	年度	達成率 (%)																										
R 2	0																											
R 3	0																											
R 4	0																											
R 5	0																											
R 6	60.8																											
R 7	60.8																											
R 8	60.8																											
R 9	60.8																											
施設を改修あるいは改築することで、コミュニティセンターの安全性の確保と利用環境の改善を図ることができ、目標を達成することができた。		(目標達成度)		100.0%																								
		(得点)		35点																								

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																			
				目標値																								
				実績値																								
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 2</td><td>0</td></tr><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>0</td></tr><tr><td>R 7</td><td>0</td></tr><tr><td>R 8</td><td>0</td></tr><tr><td>R 9</td><td>0</td></tr></tbody></table>					年度	達成率 (%)	R 2	0	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	0	R 7	0	R 8	0	R 9	0
	年度	達成率 (%)																										
R 2	0																											
R 3	0																											
R 4	0																											
R 5	0																											
R 6	0																											
R 7	0																											
R 8	0																											
R 9	0																											
		(目標達成度)																										
		(得点)																										

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	803,329	138,002	20,719	33,767
(事業費)	[千円]	780,877	128,217	11,301	24,349
(職員人件費)	[千円]	22,452	9,785	9,418	9,418

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	旧高松市総合福祉会館解体実施設計等	1 1 , 3 0 1 千円	総額	11,301	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	5,000
一般財源		6,301			
令和 7 年度	花園コミセン整備 旧総合福祉会館解体 多肥コミセン整備 女木コミセン整備	1 8 , 3 8 3 千円 2 , 5 5 2 千円 3 , 3 7 9 千円 3 5 千円	総額	24,349	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	5,900
				他	18,000
一般財源		449			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
新コミュニティセンター整備計画等に基づき、花園コミュニティセンターの整備に向け、旧高松市総合福祉会館解体実施設計等を実施し、地域のまちづくり拠点づくりに努めた。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
施設の老朽化に伴い、雨漏り等の修繕が年々増加していることから、改築、改築まで健全な状態で施設利用を可能とするため長寿命化の観点に基づいた計画的な保全、これらを２本の柱とした整備計画について、施設整備を行う。 そのほか、事業費の適正化・縮減とともに、財源確保にも努める。						

令和 7年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	取組方針	コミュニティ活動拠点の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	自治会集会所整備支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域のコミュニティ活動の場となっている自治会集会所の改修等を行う場合に、必要な経費の一部を補助することによって、自治会活動、コミュニティ活動を促進するものである。				
年度概要	自治会集会所改修等補助金				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市自治会集会所改修等補助規程等

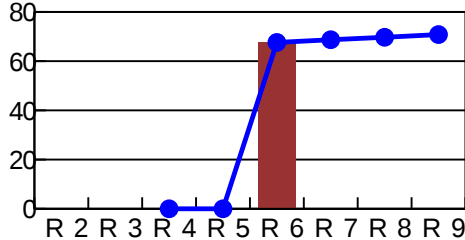
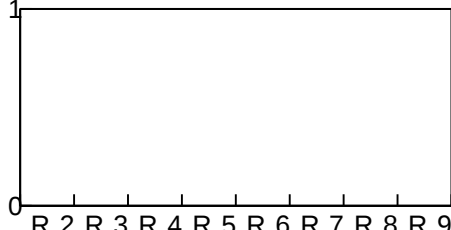
【事業の目的】

対象（何を）	自治会（認可地縁団体）
意図（どのような状態にしたいか）	集会所の改修等を促進し、地域住民の福祉の向上を図ることを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
補助件数	件	0	0	8	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	自治会集会所改修率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	67.6 67.6	68.7	69.7
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	自治会集会所の改修について、地域からの要望に応じた補助件数を実施することができた。			（目標達成度） 100.0%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			（目標達成度）					
			（得点）					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)	
トータルコスト	[千円]	16,666	12,916	15,596	4,620	
	(事業費)	[千円]	7,685	3,884	4,402	4,620
	(職員人件費)	[千円]	8,981	9,032	11,194	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	自治会集会所改修等補助金	4 , 4 0 2 千円 補助対象事業費の 5 0 パーセント以内を補助	総額	4 , 402	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	11
一般財源	4 , 391				
令和 7 年度	自治会集会所改修等補助金	4 , 6 2 0 千円 補助対象事業費の 5 0 パーセント以内を補助	総額	4 , 620	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	13
一般財源	4 , 607				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	拡充
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
自治会集会所の改修を希望する自治会に対し補助することができた。自治会活動の拠点となる集会所は、災害時の一時避難所としても活用されており、今後も継続的な支援が必要である。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
自治会集会所の耐震性を確保するため、耐震診断に係る補助制度を創設するなど、集会所改修等の更なる推進に努める。						

令和 7年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2277
	取組方針	市民との協働の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	市民活動センター管理運営事業			

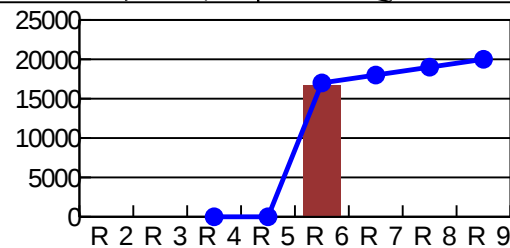
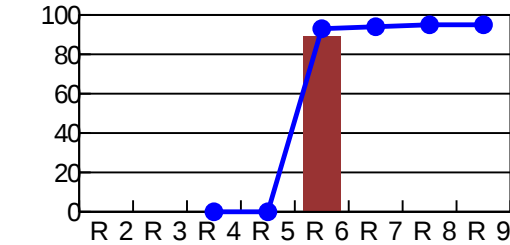
【事業全体概要】					
事業概要	中間支援組織として、市民と行政が共に考え、共に活動する協働の場として設置している市民活動センターを管理運営し、センター事業を実施する。				
	市民活動センター管理運営事業実施				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市市民活動センター条例	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民及び市民活動団体、地域コミュニティ協議会など
意図（どのような状態にしたいか）	中間支援組織である市民活動センターとしての事業を実施することにより、市民と行政のパイプ役としての協働推進機能を充実し、市民活動団体等の活動の支援強化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
市民活動センター講座等数	回	0	0	41	36	36

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	市民活動センター総利用者数	人	目標値	0	0	17,000	18,000	19,000
			実績値	0	0	16,681		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	昨年度実績からの上昇がみられたものの、利用者は16,681人にとどまり、目標を達成できなかった。			(目標達成度) 98.1%				
			(得点) 34点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	活動支援講座参加者の満足度	%	目標値	0	0	93	94	95
			実績値	0	0	89.2		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	満足度はほぼ9割に達したものの、未回答者も複数いたため、目標を達成できなかった。			(目標達成度) 95.9%				
			(得点) 34点					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	29,899	30,947	44,724	26,349
(事業費)	[千円]	19,796	20,786	25,810	26,349
(職員人件費)	[千円]	10,103	10,161	18,914	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	市民活動センター管理運営事業実施	報酬等 2 1 , 6 6 9 千円 報償費 6 8 千円 需用費 6 0 9 千円 委託料 1 , 8 6 6 千円 使用料及び賃借料 9 3 5 千円 その他 6 6 3 千円	総額	25,810	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	2,096
			一般財源	23,714	
令和 7 年度	市民活動センター管理運営事業実施	報酬等 0 千円 報償費 0 千円 需用費 1 0 千円 委託料 2 5 , 4 0 0 千円 使用料及び賃借料 9 0 7 千円 その他 3 2 千円	総額	26,349	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	477
			一般財源	25,872	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

市民活動センター総利用者数は、増加傾向にはあるが、目標値に届かなかった。今後も継続して、事業の周知啓発の充実を図り、市民活動を促進するとともに、指定管理者制度の導入に伴い、中間支援組織としての機能の充実を図ることが求められる。

地域課題が多種多様化する中、市民活動団体等が担う社会的役割は大きくなっていることから、多様化するニーズへの対応、多様な主体とのコーディネート力等、市民活動の中間支援組織としての機能を高めるため、令和7年度から指定管理者制度を導入する。今後、センター事業の充実や効果的な情報発信を行い、市民活動団体の活動の促進とセンターの利用促進を図る。

令和 6年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策		参画・協働の推進		電話番号	087-839-2277
	取組方針		市民との協働の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		ボランティア・市民活動推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市における市民活動の促進と協働の推進を図るため、高松市協働づくり懇談会による協働推進施策・コミュニティ施策についての意見聴取や、協働推進員への人材養成研修を行うなど、多様なパートナーシップによるまちづくりを推進する。				
年度概要	特定非営利活動法人認証等事務 高松市協働づくり懇談会等開催 所属担当・地域担当協働推進員研修等開催 市民活動保険 市職員協働研修開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市職員、市内に主たる活動拠点がある市民活動団体等
意図（どのような状態にしたいか）	市民活動の促進と協働の推進を図る。また、研修を通して、地域コミュニティ活動に関わる職員の協働への意識改革を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
協働に関する研修の参加者数	回	0	0	475	426	426

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																			
	参加者の研修理解度		点	目標値	0	0	4.1	4.1	4.2																			
				実績値	0	0	4.2																					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table border="1"><caption>達成率データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td>0</td></tr><tr><td>R3</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>0</td></tr><tr><td>R6</td><td>4.2</td></tr><tr><td>R7</td><td>4.1</td></tr><tr><td>R8</td><td>4.2</td></tr><tr><td>R9</td><td>4.2</td></tr></tbody></table>					年度	達成率	R2	0	R3	0	R4	0	R5	0	R6	4.2	R7	4.1	R8	4.2	R9	4.2
	年度	達成率																										
R2	0																											
R3	0																											
R4	0																											
R5	0																											
R6	4.2																											
R7	4.1																											
R8	4.2																											
R9	4.2																											
市職員に対し、外部講師を招いて協働の基礎的な内容の研修を行い、同研修動画を活用して、協働推進員にも自席で配信による研修を行うなど、研修方法を工夫することにより目標を達成した。		(目標達成度)	102.4%																									
		(得点)	35点																									

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																			
				目標値																								
				実績値																								
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table border="1"><caption>達成率データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td></td></tr><tr><td>R6</td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td></td></tr><tr><td>R8</td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td></td></tr></tbody></table>					年度	達成率	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9	
	年度	達成率																										
R2																												
R3																												
R4																												
R5																												
R6																												
R7																												
R8																												
R9																												
		(目標達成度)																										
		(得点)																										

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	5,245	5,274	20,150	7,315
(事業費)	[千円]	6	5	1,236	7,315
(職員人件費)	[千円]	5,239	5,269	18,914	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費					
令和 6 年度	特定非営利活動法人認証等事務 高松市協働づくり懇談会等開催 所属担当・地域担当協働推進員研修等開催 市民活動保険 市職員協働研修開催 自治と協働の基本指針（アンケート調査）	需用費	1 4 9 千円	総額	1,236			
		役務費	5 千円	特定財源	国	0		
		報償費	1 4 0 千円			県	154	
		日額旅費	2 千円				市債	0
		講師謝金	0 千円					他
		保険料	8 7 4 千円			一般財源	1,082	
		講師謝金	4 0 千円					
通信運搬費	2 6 千円							
令和 7 年度	特定非営利活動法人認証等事務 高松市協働づくり懇談会等開催 所属担当・地域担当協働推進員研修等開催 市民活動保険 市職員協働研修開催	需用費	1 3 0 千円	総額	7,315			
		役務費	9 千円	特定財源	国	0		
		報償費	1 4 7 千円			県	0	
		日額旅費	3 2 千円				市債	0
		講師謝金	6 千円					他
		保険料	6 , 9 3 0 千円			一般財源	3,925	
		講師謝金	5 5 千円					
講師旅費	6 千円							

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

行政との協働事業の経験が豊富な市民活動団体の代表者を講師に招き、協働とは何かという基礎的な研修を実施し、市職員の協働に対する意識の向上に寄与した。次年度以降も更なる意識の向上を目指し研修等を進めていく。

協働推進員の人材養成研修の実効性を高めることで、市民活動団体等と多様なパートナーシップを構築できるよう能力を養成し、協働を推進するとともに、協働推進員以外の市職員に対しても研修を実施することで、協働意識のボトムアップを図る。また、市民活動団体等や地域の人たちにも、協働に対する理解を深めてもらう機会をつくり、協働意識の向上を目指す。